

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日ごとに暖かさを感じるようになりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

コロナウイルスの予防接種が開始され沈静化を願うばかりです。春といっても朝夕はまだまだ冷え込む季節、くれぐれもご自愛ください。

サンライズの物語

何かできなかつたのか——

最期の瞬間について考える物語



その方は、視覚障害をお持ちの方でしたが、ガイドヘルパーさんと一緒に毎日スポーツジムへ通っており体力だけには自信があった方でした。

お逢いするといつも息子さんやヘルパーさんへの感謝の言葉を伝えて下さり、視覚障害がありながらも自身でできる事は行っていたのです。

そんな折、デイの職員から利用予定なのに連絡が取れないとの連絡が入り訪問してみると応答がない為、救急隊を呼んだところ、室内で亡くなっておられました。

前日ヘルパーが訪問した時には異常はなかったことから突然のことだったと推測されます。

コロナ禍の中、一人暮らしの方々が孤独に目を閉じる・・・介護職として何かできなかつたのかという思いが巡ってしまいました。

地域支援システムが叫ばれる中、地域の方々と一緒に孤独な最期を迎える方を減らす努力をしなければならぬと考えます。

サンライズのデイサービス陽光だより



節分イベントで豆まきをしました。鬼のパネルめがけて紙で作った豆を投げ入れます。皆さん夢中で投げて下さいました。ストレス解消にもなった様です？！

ホワイトボードでイラスト当てゲームをしました。職員2人で同じイラストを描いているはずなんですが…なかなか答えが出てきません。



答えは「ド●エモン」です！ヒントでモノマネをしましたのが…フロア内が笑いで包まれました。



NEWS 今月のニュース

中学校向かいの介護施設の窓に「がんばれ受験生！」のメッセージ 気付いた生徒たちが返した言葉は…

宜野湾市我如古にある認知症対応型の介護総合施設「ケアビレッジふれあい我如古」（宮平隆一施設長）の入所者やスタッフと、その道向かいの嘉数中学校（上里厚校長）の生徒らが窓越しにエールを交換し、交流している。（中部報道部・平島夏実）

1月22日。ケアビレッジのスタッフらが、2階の窓に「がんばれ受験生！」とメッセージを張り出した。デイサービスの利用者やグループホームの入所者が1文字ずつ、ちぎり絵で描いた生徒たちへのエールだ。印刷すれば早くて簡単。だが、お年寄りにやりがいを感じてもらおうと手作りにしたという。

施設を運営する「ふれあい介護センター」の中部エリアマネージャー、殿内鈴らんさんと新山内洋勝さん（44）によると「おじいちゃんもおばあちゃんも、みんなノリノリ」。ちぎった折り紙の端が白く残ったままだと「外に見せるんだから、ちゃんとやらないと」と駄目出しが出ることも。剥がれた紙の白い部分にさらに折り紙を重ねて色を出し丁寧に作業を続けた。

窓のメッセージに気付いた嘉数中の3年生は「なんだ、なんだ？ すてきな人たちがいる！」（金城李一（りいと）さん）、「受験を一緒に闘ってくれている感じがうれしい」（宮城稚嘉（わか）さん）と大感激。家庭科担当の高江洲朝裕先生を中心に話し合い、こちらも同じように、ちぎり絵でお礼を返そうと決めたという。

施設側は、受験前の大切な勉強時間を削ってしまうことにならないかと心配したというが、3年生は家庭

科の授業中にチームワークを発揮して完成させた。殿内鈴らんさんと新山内洋勝さんは「これから、3年生の恒例行事になるといいよね」「『応援してくれていること、忘れません』みたいな返事もいいな」とっこりした。



「がんばれ受験生！」とエールを送るケアビレッジふれあい我如古のお年寄りら



「ありがとうございます がんばります」とお礼を返す嘉数中の3年生ら

<沖縄タイムスプラス
2021年2月26日(金)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>